２０２２年度　理事長所信

公益社団法人春日部青年会議所
第５８代　理事長　小笠原 拓也

つながりを大切に未来を拓く

～人と地域が支え合う未来の為に～

【はじめに】

１９６５年、春日部青年会議所は「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」を目的に掲げ設立され、５７年の間地域の課題を模索し、その時代ごとの変化に応じた運動を展開して参りました。今日まで我々が地域に向けて運動を発信することができるのも、我々の運動に対して、行政、地域企業、地域住民すべての皆様からのご理解ご協力のもと支えられてきたからであると深く感謝申し上げます。

また、敬愛する先輩諸氏の皆様がつないできた創始の精神は今日に至るまで、我々に脈々と受け継がれております。これも先輩諸氏の汗と涙の結晶のもと、愛する地域や春日部青年会議所の未来を想う行動の中、弛まぬご尽力があったからこそであり、改めて今日まで紡いできた歴史に深く敬意を表すると共に、その歴史の上に今我々が、地域に向けた運動を行える事に感謝申し上げます。

この感謝の気持ちを胸に、すべての人たちとのつながりを大切にし、過去から引き継いだバトンを未来へとつなぐ為にも、春日部青年会議所メンバー一丸となり力強い運動を展開して参ります。

今世界は AI、IOT などに代表される先端技術を中心に加速する進歩から、今後益々ライフスタイルや働き方に劇的な変化をもたらすとされている時代の流れは、それまで当たり前であった価値観に対してまでも、すべての人に大きな変容を求めているように思えます。

「人とひと」との直接的な関わり合いについて例を挙げれば、我々の身の周り全てがオンラインによってつながり、仮想空間(バーチャル)という世界はごく当たり前のようになりつつあります。そのような世界は、私たちに多大なる恩恵を与えてくれる反面、直接「人とひと」とが寄り添うことによって生まれるぬくもりや安心感、人が集い語らうことによって育まれる相互の理解や助け合いの気持ちは、どれほどかけがえのない価値を生み出しているのかという事を、改めて見つめなおす絶好の機会でもあります。

この地域は「ひと」によって創られています。大切な「ひと」とのつながりがあるからこそ、この地域を大切にしたいという気持ちが育まれ、そのような「ひと」で溢れていることが、希望ある地域の未来を創っていく事へとつながっていくのではないでしょうか。

我々は、たとえ時代が大きく変化したとしても、「人とひと」のつながりの大切さという決して変わらないものを、運動というかたちにより発信していく事で、地域の未来にどのような困難な状況にあったとしても、大切な地域の為にその困難を乗り越えていくことができると信じています。

我々春日部青年会議所は、「人とひと」のつながりを育み、そこから「人と地域」へとつながりを広め、５７年という歴史の中で紡いできた先輩諸氏の英知と勇気と情熱を持ち、人の心を動かす運動を行って参ります。

【子ども達の未来をつなぐ大人たちへ】

先端技術が進展する社会において、先を見通す事がますます難しくなってきている中、子ども達が将来就くことになる職業の在り方についても、技術革新等の影響により大きく変化する事が予測されています。更に、今後１０年～２０年の間に、半数近くの仕事が自動化される可能性が高いとも言われております。そのように子ども達が生きる未来が大きく変化して行く事が予測される中、子ども達が未来に向けて、自らの力で未来を歩んでいく為に、子ども達にとって最も身近な存在でありつながりの強い私達大人が、子ども達の成長を支えて行く事が大切であると考えます。

なぜならば、子ども達の未来を創る「今」に真剣に向き合う事が我々大人たちの責任であり、その先にある子ども達の生きる力を身にまとった逞しい成長こそ地域のより輝かしい未来へとつながっていくと考えるからです。

だからこそ、子ども達の未来をつなぐ我々地域の大人が、子ども達の成長の為の発達を促し、子ども達がどのような未来に於いても力強く生きていけるように、抱えている課題を解決して参りましょう。

【地域の未来をつなぐ子どもたちへ】

「ひと」は誰でも「まち」の中で生まれ育ち身をおいていますが、決して一人の力だけで育ち生きていくことはできません。なぜなら、「ひと」が生きていくその裏では、日常生活を送るとき、何かに挑戦をするとき、困難を乗り越えようとするとき、人生のあらゆる場面において「ひと」とのつながりで生かされているからです。

「人とひと」の関わりが希薄化している今、未来を生きる子ども達には「人とひと」のつながりを通して、自分が生かされているという事を自覚し、そのつながりを大切にしていってほしいと考えます。

「ひと」は誰でも大切な人が知らず知らずのうちに支えてくれています。その大切な「人とひと」とのつながりで形成されているのがこの「まち」であり、子ども達の大切な人が住む「まち」に生かされているという気持ちを育むことが出来れば、愛するまちを想う事へとつながっていくのではないでしょうか。その気持ちが、子ども達が将来大人になったとき、生まれ育ったまちの為に行動できる人へと成長してくれるでしょう。

近年の急速な情報化や技術革新が進展し、多くの事がAIや機械に置き換わる事が予測される時代においても、子ども達は変化に柔軟に対応し未来を力強く歩んでいかなければなりません。世界の急速な変化が子ども達に与える影響は、子ども達の可能性を広げることだけではなく、子ども達は様々な生き方の選択をしていかなければなりません。だからこそ未来を生きる子ども達は、今では予想もつかない未知なる困難が立ちはだかったとしても、決して諦めるのではなく、その困難に立ち向かい、自らの未来を切り拓いていかなければなりません。その為には自らの力で課題を解決へと導く力の源である、知的好奇心を育むことが何より必要であると考えます。なぜならば、知的好奇心とは、知らない事をもっとよく知りたいと思う心から、自らが率先して知識や理解を求め課題を解決して行こうという自らの意志であり、その意志から子ども達の未来への道が切り拓けると考えるからです。また、知的好奇心は様々な経験を基に、新たな事の発見や、0から1を生み出す事のできる力の源でもあり、これはAIや機械が絶対に上回る事ができない人間のみに与えられた強みでもあります。

知的好奇心を育む事ができれば、大きな変化が訪れる事が予測をされる未来であっても、様々な事を自ら考え、自ら判断し、自ら行動できる、そんな人へと成長し、子ども達の目の前にどのような困難があったとしても、未来を切り拓いて行ってくれることでしょう。

【つながりを求め、世界へ羽ばたこう】

春日部青年会議所とアメリカ合衆国カリフォルニア州パサディナ青年会議所との相互訪問事業は、両JC間の理解と友情を大きな目的とし、地域社会の国際化に寄与すべく本年で３７年を迎える事となります。この長い歴史の背景には、例え言葉が通じなくとも、相手を思いやる中で、国境を越えた友情という絆が育まれてきたからだと考えます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、ここ数年はオンラインでの交流をする中においても、家族のようにいつも私達春日部青年会議所メンバーの事を案じてくれるパサディナ青年会議所メンバーへ、改めて渡米する本年、多くのメンバーでパサディナの地へと赴き感謝の気持ちを伝えに参りましょう。

更に、地域社会の国際化という目的を持つこのプログラムは、これまで多くの地域の青少年に人生の可能性を広げる機会を提供して参りました。

今後益々インターネットの進展とSNSの普及により、誰もが容易に世界の情報を収集する事が可能となると同時に、海外の人との関わりもより身近になってきた時代において、今まで以上に地域の青少年は国際的な視野を広く持ち、多様な人たちとのつながりから、異なる文化や価値観を受け入れ相手を理解することが必要になってくると考えます。

だからこそ地域の青少年には、このプログラムの中で例え言葉が通じなくとも、相手の事を知ろうとする思いから、固定概念に捉われる事なく、自身とは異なる考え方や生き方に触れ自身の視野を広げて参りましょう。

地域の青少年が自身の視野を広げる事ができれば、グローバル化が進む時代においても、異なる価値観を持っている相手の事を考える事ができ、世界の人と力を合わせ、大きく変化する未来を歩んで行ってくれることでしょう。

【地域の未来をつなぐ春日部青年会議所メンバーへ】

春日部青年会議所は、地域に向けた多くの運動によって、我々の目的である「愛する郷土の発展」に寄与してきたのみならず、もう一つの目的である「人間性の向上」は、地域を支える多くのリーダーを輩出して参りました。

未来が大きく変化するこの時代、地域を支えるリーダーとしての資質を持つためには、今一度まちづくりの概念を理解していく必要があるのではないでしょうか。なぜなら我々が、まちづくりとは何なのか、まちの問題や課題は何があるのかという事を理解していくことこそが、地域の為に自分が出来る事は何かを追求し、行動する事のできる人財を育成する事へとつながっていくと考えるからです。

そして、地域の未来をつなぐ我々は、超高齢化社会や地球温暖化問題など重要な社会課題に直面している今、国が定めた※ムーンショット目標などをはじめ、先端技術がこの先地域に与える影響を理解していく事が大切であると考えます。

だからこそ、例会という貴重な機会において、より自らの見聞を深める為に最先端の情報や技術に触れ、幅広い知識と経験を身に着け、地域の未来に向けて実践して参りましょう。

どのような変化もチャンスと捉え、常に前を向き１０年後、２０年後、更にもっと先の自分、地域、仕事、そして組織の未来を描いて参りましょう。

※〈参考文献〉内閣府ホームページより

【まだ見ぬ仲間とのつながりを求めて】

春日部青年会議所が設立され今日まで途絶える事なく継続している運動は会員拡大運動です。この運動は未来永劫決して途絶えさせてはなりません。

なぜなら、会員拡大運動を行う事こそが、地域や未来ある子ども達のために行動する仲間を増やし、最も効果的で直接的に「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」への実現へとつながっていき、組織としても多くの仲間を巻き込む事で力強い運動の発信ができると考えるからです。そしてまだ見ぬ仲間とのつながりは、５７年という歴史と伝統ある春日部青年会議所を未来へとつないでいくことでもあります。

しかし、青年会議所は２０歳から４０歳までの卒業制度のある団体であり、毎年多くのメンバーが卒業してしまいます。故に、今後１０年後、２０年後、更にそれ以降も春日部青年会議所運動を展開していく為にも、会員拡大運動を行っていかなければなりません。

その為に、地域の為に率先して行動しようと「志」持ったメンバーが、共に切磋琢磨し、お互いのつながりを生かし高め合う事のできるという、青年会議所特有の魅力をまだ見ぬ仲間へと伝えて参りましょう。

また、新しく入った春日部青年会議所の宝である仲間には、青年会議所運動や活動を通し

ての研鑽から得る事のできる仲間との絆を感じてもらい、生涯の友を作り自らの成長の糧へとつなげて参りましょう。

【最後に】

つながりとは、「人とひと」、「人と地域」、そして「過去と未来」など様々なものがあり、すべてのつながりが新たなつながりを生み、人や地域を必ず成長させてくれると信じております。

なぜなら私自身、今日まで様々な人とのつながりによって「今」生かされていると実感しています。辛い時、苦しい時、何度も心が折れそうになった時に、いつも心の支えであったのは大切な人とのつながりであり、青年会議所の仲間とのつながりであったからです。

だからこそ私は、一人では立ち向かう事が困難な壁があったとしても、「人とひと」とが支え合い、助け合う事で、どのような困難も必ず超えられると考えております。

転機という機会がすべての人に訪れている今、「人とひと」とのつながりを大切にし、そしてその人たちで創られているこの地域とのつながりを強いものへとするべく、春日部青年会議所メンバー一丸となり未来を切り拓く力強い運動を展開して参ります。

最後に、理事長という職を担うにあたり先輩諸氏が未来の私たちにつなげてくれた、「志」を決して忘れる事なくすべての皆様への感謝の気持ちを持ち、全身全霊をかけ一年間役職に徹して参ります。

一年間よろしくお願い致します。

基本方針

副理事長　育成室担当　平田　洋介

つながりから子ども達の愛郷心と知的好奇心を育もう

私たちが目指す「愛する郷土の発展」とは地域を愛する人達がまちに溢れ、地域の「人とひと」とのつながりを大切に想うことの出来る人が満ち溢れたまちです。

しかし、私たちが暮らすこの地域では家族構成の変化により、地域の「人とひと」との関わりあいが希薄化しており、地域の人同士のつながりが減少しているのではないかと考えます。

そのため、本来地域の人同士が関わりあう中で育まれる地域への愛郷心が徐々に薄れていっているのではないでしょうか。

地域の未来を担う子ども達には、親や友達、地域の身近な「人とひと」との関わりあいの中から育まれる信頼関係からつながりを感じてもらうことが必要です。

なぜならば、信頼できる人とのつながりを子ども達自身が感じ安心できる自分の居場所だと認識することが出来れば、そのつながりを大切に想うことへと繋がるからです。

だからこそ子ども達には安心できる「人とひと」とのつながりを大切に想う気持ちを育みながら、「人から地域」へとつながりを広め愛郷心を育んでまいります。

これからの社会は情報化や技術革新に伴い先端技術が進展することで、社会の在り方は大きく変わろうとしており、すべての人にとって大きな変容が求められております。大きな変化が予測される中で、地域の未来を担う子ども達にはこれから直面する様々な課題に対しても自ら考え、選択し解決していかなければなりません。

地域の未来を担う子ども達には多種多様な考えを持ち、物事に挑戦していく為には、知らない物事をもっとよく知りたいと思う自発的な意欲の力の源である「知的好奇心」を育むことが大切であると考えます。

挑戦する機会を通じて子ども達の「知的好奇心」を育むことが出来れば、様々な課題に直面した時にも探究していく心から「どうすれば解決出来るだろう」と課題について自ら考え解決していくことが出来ると考えるからです。

子ども達の「愛郷心」を育み「知的好奇心」を兼ね備えることで、将来子ども達が大人になった時にも大切な人が住まうこの地域をより良くしていきたいという気持ちを育む事へとつながり、更には地域の課題に対しても自らの意志で解決策を考え地域のために率先して行動することが出来るのではないでしょうか。

子ども達の新たな挑戦や発見、成長を促す力になるのが「人とひと」のつながりだと考えます。自分の気持ちを理解し必要な時に知恵や手助け、励ましてくれる人たちとの信頼関係があれば安心してなんでも相談することが出来、失敗を恐れずどんな事でも挑戦することが出来るのではないでしょうか。

だからこそ、子ども達の身近な存在であり一番近くのお手本である親や親世代である私たち大人が一緒になって楽しみ子ども達と共に自らの好奇心を刺激し、地域の未来を担う子ども達とのつながりを育みながら共に地域への愛郷心を養ってまいりましょう

最後に、地域の宝である子ども達の成長は希望ある地域の未来に向けた「今」我々ができる大切な備えです。「人とひと」のつながりから子ども達の「知的好奇心」と地域への「愛郷心」を育むために私たちが率先して行動して参りましょう。

一年間よろしくお願い致します。

基本方針

副理事長　総務室担当　村田　晶哉

戒驕戒躁（かいきょうかいそう）

～堅実に職務を遂行し、組織を支えることでつながりを強固にする～

公益社団法人春日部青年会議所は「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」を目的として、今日まで長きに亘り運動を展開してまいりました。これも先輩諸氏が地域との信頼関係を構築し、ご理解ご協力を頂いてきたからであります。だからこそ、地域から信頼される組織であり続けなければなりません。

信頼される組織であり続けるためには、透明性のあるしっかりとした組織運営をする必要があると考えます。そのため、本年度総務室では、財務管理を厳格に行い、情報公開をすることで、公益社団法人春日部青年会議所が、地域のために運動を展開しているしっかりとした団体であることを地域の方々に周知いたします。

また、総務室は組織の根幹と言われております。これは最高意思決定機関である総会並びに理事会の設営、財務の管理と組織の運営を担う重要な職務を総務室が担当するからであります。組織の根幹である総務室が職務を疎かにしてしまうと、円滑な組織運営ができず、春日部青年会議所の運動を停滞させてしまいます。そのため、総務室では、堅実に職務を遂行し、組織の根幹である重要な職務を担当するということを自覚し、常に気を引き締めて、真面目に丁寧に取り組んでまいります。

そして、各委員会が十分に力を発揮できるよう環境を整え、組織を支えていかなればなりません。そのため、事務局の備品管理の徹底、デジタルアーカイブの整理をすることで環境を整えます。

また、本年度は初めて理事を務めるメンバーが多いため、各委員会に寄り添いながら積極的に支えてまいります。寄り添いながら積極的に支えることで、総務室と各委員会との信頼関係を構築し、つながりを強固にいたします。そうすることで、総務室と各委員会が連携を取りやすくなり、力を十分に発揮し、春日部青年会議所の力強い運動展開につながります。

結びに、総務室として堅実に職務を遂行するだけではなく、組織を支えるために今まで私が経験してきたことを全て出し尽くします。そして、総務室がメンバーの模範となるよう、驕らず堅実に取り組んでまいります。

一年間よろしくお願い致します。

基本方針

副理事長　会員室担当　山口　隆顕

つながりが人の心を動かす

公益社団法人春日部青年会議所は、「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」を目的に掲げ、多くの先輩諸氏や地域の皆様に支えられながら今日まで運動を展開して参りました。その中で一度も途絶えることなく継続してきた唯一の運動が会員拡大運動です。

なぜならば、４０歳で卒業という制度がある青年会議所において、今後もより力強い青年会議所運動を展開していくためにも新たな仲間を迎え入れ続けることが必要だからです。

会員拡大をするということは、私たちの運動を理解し、賛同頂ける仲間が増えるということであり、地域のために率先して行動する人が増え続けることで必ず地域に良い影響を与えることが出来ると考えます。しかしながら会員数は減少しています。その理由として、春日部青年会議所の活動、運動を通じて得ることの出来る自己成長の場があるという魅力をメンバーが入会対象者へ十分に伝えられていないからだと考えます。多くの新たな仲間を迎え入れるためにも、この魅力を全てのメンバーが感じ、余すことなく丁寧に入会対象者へ伝えて参りましょう。そうすることで入会対象者とのつながりが深まり、「同じ仲間となって共に成長していこう」という私たちの熱意が入会対象者の心を動かし、必ず仲間が増えるはずです。

また、組織内においては、メンバー一丸となった拡大活動が出来ていないように感じます。

なぜならば、メンバーの拡大に対する意識が薄れていると考えるからです。この意識の低下を防ぐためには、メンバーとのつながりを深めていくことが重要です。メンバーが提供してくれた情報の一つひとつを大切にすると共に、率先した拡大活動によりメンバーを巻き込んでいくことで、メンバーの心を動かし、拡大活動に対する意識を高めて参ります。

新たな仲間として迎え入れられた新入会員が入会後間もなくして配属されるのがJAYCEE 育成塾です。しかし、入会直後はどのようにして青年会議所の活動、運動に参加したら良いのか分からず誰もが不安を抱きます。だからこそ、塾では同期のメンバーと共に青年会議所の目的やルールを学び、塾生同士のつながりを深め、今後の青年会議所活動の基礎を築くサポートをして参ります。その過程で仲間と語らい、分かり合い、助け合い、同じ時間を共有することで生涯の友ともいえる仲間へと成長していきます。そんな仲間がいるからこそ安心して青年会議所運動へ邁進することが出来、地域の人たちの心を動かす人材へと成長することでしょう。

結びに、全国的に青年会議所メンバーの減少が続いており、春日部青年会議所も例外ではありません。しかし私たちが目指す理想の姿とは、「どんなときでも拡大の歩みを止めてはならない」という先輩諸氏からの教えを大切に受け継ぎ、春日部青年会議所の未来へと繋いでいくことです。そのためには、今年度会員室に与えられたミッションである、「拡大＝私たちと志を同じくする仲間を増やすこと」を 25 名の新たな仲間を迎え入れることで達成させ、率先して行動できる JAYCEE へと成長していけるよう今まで以上にメンバー同士のつながりを深めて参ります。

一年間よろしくお願い致します。

基本方針

副理事長　研修室担当　板垣　浩太

未来を描き、未来へつなぐ

春日部青年会議所は「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」を目的として運動や活動を行っております。その中で私たちは様々な知識や経験を身に着け、愛する地域を想い、地域の未来をリードする人財になる為、己を成長させてきました。今後も私たちの地域を希望溢れる未来へ導いていく為に、私たち一人ひとりがさらに己を成長させ春日部青年会議所運動をより一層力強く発信して参りましょう。

今私たちの住まうまちは大きく変わろうとしています。私たちの住まうまちの姿はもとより、それを取り巻く技術は目まぐるしく進歩を遂げ、私たちの生活や価値観に影響を与えていく事でしょう。さらに今後も時代の変化のスピードは加速していくとされ、私たちの生活に与える影響もさらに大きくなっていくと考えます。このような急速な変化はまちが豊かになっていくのと同時に新たな課題が生まれる可能性があります。

だからこそ、私たちは自分たちの住まうまちの未来の姿を鮮明に描き、未来へ何をすべきか真剣に考えることが出来る人、つまり地域の未来をリードする人財へと成長していかなければなりません。このようなまちの分岐点ともいえる今だからこそ、より一層未来のまちづくりを視野に入れ、今するべきことを模索していく事が大切であると考えます。

その為には、まずは様々な視点から「まちづくり」を改めて考え、まちがどのように創られているのか、今後まちが何を目的にどのように変化していくのか学び、さらに発展していくとされる新たな技術についても積極的に知識を広げていきましょう。そしてそれらの知識を活かし未来を想像し、今後まちに与える影響を考え、未来へ向け何が必要なのか、私たちが行うべきことを追求していきましょう。

最後に本年度研修室では、今後の春日部青年会議所の運動をより一層力強く行うために、メンバー一人ひとりが地域の未来を描き行動できるようにしていきます。私たちの地域を未来へつなげる為には、一人ひとりが知識を増やし成長していく事が必要です。その為に、まずは研修室がまちの未来を描き率先して学んで参ります。

一年間よろしくお願い致します。

基本方針

副理事長　国際室担当　白石　博樹

「つながり」を築き、世界を切り拓こう

青年会議所が設立より掲げているJC三信条の中に「世界との友情」があり、春日部青年会議所には「世界との友情」を実体験できるパサディナホームステイプログラム（以下PHP事業）があります。このPHP事業は、これまで多くの先輩諸氏、そして地域の青少年が関わってきたことで地域社会の国際化に寄与してきました。その歴史の中で、パサディナ青年会議所メンバーとの「つながり」つまり「友情」が築かれ、パサディナ青年会議所と春日部青年会議所の間には「理解と友情」を始めとする多くの人の想いが詰まっている事業です。地域社会の国際化に寄与してきた歴史と携わってきた様々な人の想いや友情を途絶えさせないためにも、これからもPHP事業を継続していかなければなりません。

しかし、様々な理由で渡米するメンバーは年々減少しております。その理由のひとつにメンバーの中で「PHP事業に参加する壁」があると考えます。このままでは、これまで紡いできた歴史と携わってきた様々な人の想いや友情を途絶えさせることになり、青年会議所が掲げる「世界との友情」の実現も困難となってしまいます。

そのため、「PHP事業に参加する壁」を抽出し「どうしたら参加できるか」を考え・実行することが必要です。その「PHP事業に参加する壁」を解消できれば、パサディナ青年会議所メンバーと「友情」を育むメンバーが増えることになり「世界との友情」を実体験することができます。PHP事業に参加し様々な人の想いや友情を次代のメンバーへ引継いでいくことで、恒久的な世界平和の実現と地域社会の国際化に近づくことができると考えます。

だからこそ、多くのメンバーで渡米しパサディナ青年会議所メンバーと過ごす中で育まれる「友情」を築き、共に感謝の言葉を伝えに行きましょう。

これから社会へ出る青少年には、他国の文化や価値観を知り・受け入れることで自身が持つ成長の可能性を広げてもらいたいと考えます。なぜなら、近年のグローバル化により日本における外国人登録者数は年々増加しております。高齢化社会である日本において、外国人の労働人口が益々増加し、外国人と関わる機会も増えていくでしょう。また、小学校教育における英語科目の必須により、今までよりも更に世界が身近になると考えます。

そのため、青少年には外国人との交流を通して他国の文化や価値観に触れてもらいたいと考えます。なぜなら、感受性豊かな青少年のうちに実体験を通して得た他国の文化や価値観は、社会へ出たときの大きな財産になるからです。だからこそ、青少年にはPHP事業や外国人と交流することで、他国の文化や価値観を知り・受け入れ・成長できる実体験の機会を創出していきます。

最後に、渡米できなかった 2 年間もパサディナ青年会議所メンバーは「是非パサディナの地へ来てほしい」と伝えてくれました。その想いに応えるためにも多くの春日部青年会議所メンバーと青少年が共に渡米し感謝の言葉を伝えに行きましょう。

一年間よろしくお願い致します。

基本方針

専務理事　広報室担当　細貝　透

誠意ある姿勢で、人の心を動かす

公益社団法人春日部青年会議所は設立より５７年の間、「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」を目的に運動を展開して参りました。これまで我々が地域に向けて運動を発信することができたのも地域の皆様のご理解とご協力があるからです。

また、歴史を紡いでこられた先輩諸氏の弛まぬ努力に敬意を表すると共に、地域の皆様からのご理解とご協力に改めて感謝申し上げます。

春日部青年会議所が行う運動を地域の皆様に広く知っていただく為には、我々が行う運動の意義や所属しているメンバーの想いを発信していくことが必要です。

なぜならば、地域の未来を描き、それにかけるメンバーの熱い想いを発信することで、運動の魅力が伝わり、地域の皆様の心を動かすことにつながると考えるからです。

しかし、地域の皆様に対しての発信が十分ではなく、我々が行う運動を知らない多くの方々もいるのが現状です。

その為に、広報活動を通して我々が行う運動や活動を発信するホームページや SNS 等の既存の媒体を更に充実させ、定期的な発信を心掛けます。また、誠意をもって人の心に伝わる発信を行い、日々行っている運動の魅力を伝えて参ります。

私たちが今後も力強い運動を展開していく為には、行政、各種団体、地域の皆様からの春日部青年会議所の運動へのご理解とご協力が何よりも大切です。

なぜならば、地域の皆様からご理解とご協力を頂けるということは賛同者が増え、我々が行う運動をより力強く加速させ、地域の明るい未来を共に創っていく事へとつながっていくと考えるからです。

だからこそ、過去に先輩諸氏が築き上げてきた地域の皆様との信頼関係というつながりを継続していかなければなりません。

その為に、春日部青年会議所の窓口として、地域の皆様とのつながりに感謝の気持ちをもち、誠意をもって感謝を伝えられる機会一つひとつを大切にして参ります。

本年度も、日本青年会議所をはじめ各協議会へ多くのメンバーが出向します。多くの仲間で各種大会に参加することで、LOM を代表し出向しているメンバーを積極的に支援して参ります。

青年会議所の各種大会のセミナーには多くの学びがあり、その学びは青年会議所の活動

だけではなく、自身の成長へとつながっていくと考えます。また各種大会を通して時間を共有したメンバー同士はお互いをより理解でき、つながりを深められる機会になるのではないでしょうか。

その為に、各種大会の情報を春日部青年会議所メンバーへ迅速に発信・共有し、参加意欲向上へと努めて参ります。

広報室では感謝の気持ちを持ち、先輩諸氏が我々につなげてくれた、地域とのつながりをより強いものにしていく為に、「広報」「渉外」行動一つひとつに誠意ある姿勢で取り組んで参ります。その姿勢が人の心に伝わり、必ず人の心を動かす原動力となると信じております。

一年間よろしくお願い致します。

基本方針

子どもの未来創造委員会　委員長　亀谷　雄志

子ども達の希望ある未来のために

つなげよう地域の「人とひと」の心、育てよう知的好奇心

現在は、核家族世帯が増加し自治会やご近所付き合いといった昔ながらの地域との関わり合いが減少し地域における相互の助け合いが少なくなってきております。地域の「人とひと」とのつながりが減少することでまちへの愛郷心が低下してしまうのではないでしょうか。地域の子ども達には、親や友達といった地域の身近な人との心のつながりを育み、子ども達自身が自分たちの住む地域に信頼できる大切な人がいることを認識してもらうことが重要です。その為に、子ども達には地域の身近な環境で親や友達と一緒に同じ目的に向かって協力しあえる体験から心のつながりを育むための機会を創出致します。心のつながりから子ども達が信頼できる大切な人の存在に気づくことで、居心地の良い自分の居場所であると想い、地域への愛郷心を育むことに繋がると考えます。愛郷心で満ち溢れたまちになるように、忘れられない思い出を一緒に創りましょう。

本年度子どもの未来創造委員会では、地域の「人とひと」のつながりを大切に想い地域を愛する人がまちに満ち溢れることを理想として一年間活動して参ります。

AI の最先端技術の向上により目まぐるしく変化する社会に対して、地域の未来を担う子ども達には、これから直面する様々な困難や課題にも自ら考え答えを求め、行動していかなければなりません。

子ども達が、様々な困難や課題に自ら考え答えを求め行動していくための原動力となるのは知的好奇心です。

子ども達の知的好奇心を育むことができれば、自ら困難や課題の解決の糸口を見つけ「どうすれば解決できるのか」と考え行動することが出来るのではないでしょうか。

なぜならば、子ども達に知的好奇心があれば様々な困難や課題に直面したときにも、知らない物事をもっとよく知りたいという気持ちから知識、情報、理解に基づいて新しいものや未知の事を良く知りたいと思う自らの意志だからです。

子ども達には、身近な場所で知らないことや新たな発見を実際に見たり触れたり感じてもらい、自ら考え答えを求め、楽しみながら子ども達の知的好奇心を育んで参りましょう。

子ども達が愛郷心を育むことと、知的好奇心を育むことに、親世代とのつながりが重要で

あると考えます。なぜならば「親の背を見て子は育つ」のことわざのように親や親世代が子ども達の良きお手本となるからです。

親世代である私達がそのことを自覚し大きな影響を与える存在として、子ども達と一緒に協力し、心のつながりを育むことで、子ども達の地域への「愛郷心」を育むことができるのではないでしょうか。また、子ども達が予測困難な未来を臆することなく乗り越えるために必要な力である、知的好奇心を一緒になって楽しみながら育むことが出来れば、子ども達自らが地域の未来を創り出していくという可能性を最大限開花させていくことが出来るのではないでしょうか。

子ども達の最大のお手本である私達が子どものようにワクワクしながら参加して子ども達の成長を促して参りましょう。

一年間よろしくお願い致します。

【事業計画】

(1) 愛郷心溢れる地域社会の創造に関する調査・研究・計画・立案・実施。
(2) 次世代の育成に関する調査・研究・計画・立案・実施。
(3) 会員の拡大に関すること。
(4) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。

基本方針

総務財務委員会　委員長　大嶋　規志

確実かつ丁寧な組織運営と積極的なサポート

春日部青年会議所が、これまで地域から信頼される団体であるために、しっかりとした透明性のある組織運営を行う事ができたのも先輩諸氏のおかげであり、今後もそれを引継いでいかなければなりません。それには、厳格な財務管理ができていること、春日部青年会議所が何をして、どのような状態であるのかを第三者が知ることのできる体制を整えていることが必要であると考えます。そのために、委員長、副委員長だけでなく、総務財務委員会メンバー全員で細部まで徹底して財務管理の確認を行います。その上で正味財産増減予算書・収支予算書・事業計画を作成し、ホームページにて情報公開することで春日部青年会議所が何をして、どのような状態であるのかを第三者が知ることができる体制を整えられると考えます。そうすることで、しっかりとした透明性のある組織運営を継続していきます。

総務財務委員会は最高意思決定機関である総会や、理事会の設営、財務の管理といった組織を運営する上で重要な職務を行うため、総務財務委員会が職務を怠ると、春日部青年会議所の組織としての運営が滞ってしまいます。総務財務委員会が確実かつ丁寧に職務を行うことが、総会や理事会の円滑な進行につながり、県や市への報告・届出を確実に行うことで、春日部青年会議所の運動・活動を停滞させることがなくなります。そのために、委員会開催時において総務財務委員会メンバーに総会や理事会、総務財務委員会で作成する議事録の重要性を説明する際に、県や市へ提出した資料や、法令を参考にした資料を作成し、重要な委員会であることを伝えます。組織を運営する上で重要な委員会であると委員会メンバーにも自覚を持っていただき、常に気を引き締めて確実かつ丁寧に職務を行ってまいります。

また、総務財務委員会は各委員会が最大限に力を発揮し円滑に活動できるように事務局の環境を整え、積極的なサポートをしてまいります。事務局の環境整備として、まず、備品のケースに番号を振り、一覧表を作成しどこに何があるのか分かるようにすることで、備品の有無や場所を共有できるようにします。そして、デジタルアーカイブを見やすくなるよう整えます。その過程で参考となる同種の例会や事業がいつあって、資料がどこにあるか把握し、すぐ伝えられるように致します。

そして、積極的なサポートとして特に財務面のアドバイスを行ってまいります。必要と

なる見積書、相見積書の確認、講師への源泉徴収の有無、振込の際の注意点、領収書を含めそれぞれのチェック項目を共有できるように致します。また、総務財務委員会から積極的に連絡を取り、分からない点を聞いてサポートをし、つながりを強固にすることで、各委員会との信頼関係を築き連携を取りやすく致します。

結びに、総務財務委員会が組織の運営を担う重要な委員会であるという自覚をし、責任を持って丁寧に職務を行ってまいります。また、約２年間、新型コロナウイルスの影響により、全員が集まる例会や事業の機会が減っていました。今まで当たり前のようにやってきたことではありますが、改めて春日部青年会議所が大切にしてきたセレモニーや事前の準備を、総会はもちろん委員会においてもしっかり行っていき、総務財務委員会が模範となるよう努めてまいります。

一年間よろしくお願い致します。

【事業計画】
(1) 定款、諸規定に関すること。
(2) 総会・理事会の設営および関連資料の作成。
(3) 会員名簿の完備、ハンドブック・名刺の作成。
(4) 褒賞、表彰に関すること。
(5) ＪＣルームの管理及び物品備品の保管、管理に関すること。
(6) デジタルアーカイブ（各資料のデジタル化と管理）に関すること。
(7) 例会・事業に於ける会員の出欠記録に関すること。
(8) 会費の徴収に関すること。
(9) 財務の管理に関すること。
(10) 各委員会との連絡調整に関すること。
(11) その他各委員会に属さない事項に関すること。
(12) 会員の退会に関すること。
(13) 会員の拡大に関すること。
(14) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。

基本方針

会員拡大委員会　委員長　川鍋　沙織

みんなの心に寄り添う

公益社団法人春日部青年会議所は設立されてから今日に至るまで「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」を目的に掲げ、地域に向けた力強い運動を展開して参りました。

その運動の中でも一度も絶えることなく継続してきた唯一の運動が会員拡大運動です。今後もより力強い運動を展開していくためには、私たちと志を同じくする仲間の力が必要です。

この組織に新たな仲間を増やすためには、まだ見ぬ新たな仲間に春日部青年会議所の魅力を伝えることが必要です。会員拡大委員会が考える春日部青年会議所の魅力とは新たな人間関係を築いていくことで視野が広がる事や、大勢の人前で話すことによって自信を持つことが出来るといった自己成長の機会があることです。

しかし、入会対象者に春日部青年会議所の魅力を伝えきれているでしょうか。
魅力が伝えきれていないと入会へと導くことが出来ず、会員数が増えないことによって多くのメンバーで力強い青年会議所運動を発信することが出来なくなってしまいます。

そのためにも入会対象者がどのようなことに不安を感じているのかを親身になって話しを聞くことや定期的なアプローチをすることで入会対象者の現状を把握し、常に対象者に「寄り添う」という姿勢を心掛けます。そうすることで、対象者が安心して心を開き、信頼関係で結ばれることによって魅力が伝わりやすくなります。

また組織内においてはメンバー一丸となって拡大をやっていくことが一番大切です。

しかし、メンバーの拡大に対する意識が薄れていることに危機感を覚えます。このままでは拡大に携わるメンバーが減り、入会対象者へのアプローチが減少することによって入会を検討している対象者を新たな仲間として迎え入れる事が出来なくなってしまいます。会員拡大委員会が考える理想の拡大活動とは、メンバーが率先して拡大に参加しやすい環境を作り、一人ひとりが拡大に参加しているのだという気持ちになってもらう事です。そうすることでメンバーの拡大に対する意識の向上に繋がるからです。

そのためにも本年度会員拡大委員会では、メンバーに寄り添った拡大活動を心掛け、計画性のある拡大活動を徹底し、メンバーから提供して頂いた情報の一つひとつを丁寧に対応することで信頼関係を築いて参ります。

さらに今年の新たな取り組みとして、訪問した際に、対象者の人となりが分かるようにす

るために、ヒアリングシートを用いた拡大活動を行います。そうすることでメンバーと対象者との共通点を発見する事が出来、対象者との距離を縮めることが出来ます。このようにメンバーに対しても「寄り添う」姿勢を心掛けることで、メンバーの心を動かし、拡大に対する意識の向上に努めて参ります。

私はあと 2 年でこの組織を卒業します。あとに続くメンバーがより力強い青年会議所運動を発信していけるようにするため、今年度 25 名の新たな仲間を迎え入れる決意を致しました。この目標を達成するためには多くのメンバーを巻き込み一丸となった拡大活動をしていける様にメンバーに働きかけていきます。そのためにはまず、私たち会員拡大委員会がメンバーのお手本となれるように信頼できる行動や言葉遣い、振る舞いを常に意識して参ります。そして一人でも多くの方々に春日部青年会議所の魅力を伝えていけるように率先して行動して参ります。

一年間よろしくお願い致します。

【事業計画】
(1) 会員の拡大に関する調査・研究・計画・立案・実施。
(2) 会員の入会に関すること。
(3) スポンサーに関すること。
(4) 例会・事業のオブザーバー参加者の出席記録に関すること。
(5) 入会対象者に関する資料の収集及び管理に関すること。
(6) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。

基本方針

JAYCEE 育成塾　塾長　馬場　茂明

生涯の友とつながり、共に学ぼう

「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」を目的として 1965 年に春日部青年会議所は誕生いたしました。より良い社会を実現していくために、多くの人を巻き込みながら、描いた理想へ導くことの出来るリーダーシップを持った人材の育成が必要です。そのような人材を育成するために、多くの機会を提供することが青年会議所の役割であり、ひとづくり、すなわち自己成長する事が期待できる団体ではなくてはなりません。青年会議所の運動展開の考え方に「4 つの機会」があり、多くの機会を提供し、仲間と共に切磋琢磨し、多くの学びを吸収して今後の地域のために行動できる人材を輩出してまいりましょう。そのためには、新たなメンバーに青年会議所で出来る事や学べる事を伝える環境が必要であり、JAYCEE 育成塾が存在意義を示さなければなりません。

しかし、入会間もないメンバーは、青年会議所はどのような組織で何を目的にしている団体かを理解できていません。目的を理解しない状態で、春日部青年会議所の運動・活動に参加したとしても、魅力に気づくことも出来なくなります。そのようになってしまうことで、春日部青年会議所に所属していることに誇りを持つことが出来なくなり、やがて、地域や他者のために率先して行動できる JAYCEE が育っていかなくなってしまいます。

そこで JAYCEE 育成塾では、はじめに塾生が春日部青年会議所で活動していくための基礎を築く場として、JC 三信条、ルールを学ぶ事や入会直後に感じる不安を解消してまいります。次に、目的意識をもち積極的に例会や事業へ参加をするように促します。なぜなら例会や事業に対して目的意識をもって参加をすることで、塾生の例会・事業へ参加する意味を理解してもらうが出来、青年会議所の運動展開の考え方の「4 つの機会」に触れることにつながります。その考えを基に、塾生同士が切磋琢磨し、共に成長する事で、率先して行動できる JAYCEE へと育っていく事でしょう。そして、同期と言われる塾生達が共有する時間の中で、友情が生まれ、その先には、信頼し合い、より深い友情を育むことが出来るでしょう。その友情はやがては生涯の友と言えるような関係になって行くと考えます。

今後の青年会議所活動の基礎を築いていくために、全てのメンバーが通る登竜門である JAYCEE 育成塾として、自身が経験させていただいた多くの青年会議所の魅力を伝えてまいります。この一年間の経験が関わらせていただくメンバーの人生を変える良い機会とな

るよう、覚悟をもってチャレンジ致します。

一年間よろしくお願い致します。

【事業計画】

(1) 新入会員へのオリエンテーションに関する調査・研究・計画・立案・実施。
(2) その他新人会員に関すること。
(3) スポンサーに関すること。
(4) 会員の拡大に関すること。
(5) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。

基本方針

会員研修委員会　委員長　亀山　佳史

まちはひと

～現在と未来をつなぐまちづくり～

春日部青年会議所は、1965 年設立されてから「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」を理念に掲げ、今日まで運動を展開して参りました。それは多くの諸先輩方から受け継がれてきた「まちづくり」と「ひとづくり」への想い、それらを叶える為の弛まぬ努力があったからだと考えます。

私たちはその想いを絶やさず、より積極的に地域に向けた運動を展開し続けていく為にも「現在と未来をつなぐ架け橋となる人間」でなければならないと考えます。それは、しっかりと未来を想像した上で最適な手段を選び行動することが出来るひとです。

それにはまず様々なまちづくりの方法を知り現在のまちの状態を把握する事が必要だと考えます。なぜなら様々なまちづくりの方法を知っているから全体像を掴む事が可能となり「まち」や「ひと」に最適な方法を選び運動を展開できるからです。その為に「個人・団体・行政」と様々な立場がまちに対して行う活動や開発についての情報を把握し多角的な視点からの考え方を学んで参りましょう。

また、遠い未来を想像しまちの未来を予測する必要があります。なぜなら新しい技術が生まれ、時代が変化することで新たな問題も生まれる一方、今ある問題を解決出来るような新たな解決策も生まれるかも知れないからです。その為には、今ある技術や情報の他に、これから現れる新しい技術や情報にも意識を向け、情報を蓄え見聞を広めていきましょう。

そしてまちづくりと未来に対する知識と情報を兼ね備え、私たちは何ができるかを示していかなければなりません。その為に、今から解決していかなければならない問題と向き合い、共に何が出来るか意見を交わし合い、解決に向けた意識を高め合いましょう。

そうすることで、時代が急速に変化しようとも春日部青年会議所だから出来ること、春日部青年会議所だからこそ高い効果が得られる方法を様々な視点からしっかりと選び抜き強い想いを持って「まち」にも「ひと」にも良い効果を与えられる運動を展開する事が出来ると考えます。それが、現在のまちをより良い未来へとつなぐことが出来る方法ではないでしょうか。

ところで、幼き頃に一度くらいは草船を川に浮かべたことがあると思う。きっとその草船は時間と共にどんどんと遠くへ流れていったはずだ。そう、時代も川も何もせずとも流れていく。私たちの多くは「今」という草船に乗り、ただ流されている事に気づいているだろうか？同じ距離を進んでいるように感じていても、漕いでいるのと流されているのでは、その意味は全く異なるのである。選べる手段も視点も多い方が良い。それは草船の進む距離や経路を「偶然」に決めさせない為にも。本年度、会員研修委員会は、共に「まちづくり」について学び、友と「ひとづくり」について語り合えるような例会を設えられるよう努めて参ります。

一年間よろしくお願い致します。

【事業計画】

(1) 会員の資質向上に関する調査・研究・計画・立案・実施。

(2) 会員の拡大に関すること。

(3) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。

基本方針

国際交流委員会　委員長　花村　圭祐

Let’s break the wall together

～壁を壊し共に世界へ～

春日部青年会議所とパサディナ青年会議所が今日まで築き上げてきた歴史は本年で 37 年になります。これはひとえに春日部青年会議所の数多くの先輩諸氏のご尽力ならびに地域の皆様のご協力があり築き上げてきた歴史と考えます。この PHP 事業は両青年会議所の理解と友情、そして地域社会の国際化に寄与してきました。だからこそ、今後も PHP 事業を続けなければならないと考えます。

現在、春日部青年会議所メンバーの中で渡米経験がある人は僅かに 5 名だけとなっており、このままでは PHP 事業の継続は困難になってしまいます。PHP 事業を今後も継続する為には、春日部青年会議所メンバーに PHP 事業の魅力を知ってもらい、PHP 事業に参加し交流することでパサディナメンバーとの友情を築くことが必要です。

しかし、メンバーが PHP 事業に参加してみたいと考えても、参加するに当たっての壁があるのではと考えます。その壁とは、「外国人は日本人と違う考え方をもっているのではないか」と思い、参加を阻む壁となっているのではと考えます。それは日本人とは違う、言語、文化、風習、価値観があり、そうした違いを理解できずにパサディナメンバーとの友情を深めようとしないのではないでしょうか。それにより、PHP 事業の魅力を十分に理解することができず、参加できないのではと考えます。

メンバーが壁を壊し、共に PHP 事業に参加するためには「海外の文化や価値観を理解する機会」「PHP 事業の魅力を知る機会」を創出することです。この機会を通じて、PHP 事業の魅力を十分に理解し参加することができれば、今日まで築き上げてきた、パサディナ青年会議所と春日部青年会議所との間にある歴史と友情を肌で感じることができます。そうすることで、両青年会議所の友情が更に深まっていくのだと確信しています。

お互いに理解と友情を深めることで、パサディナメンバーと家族のような関係を築いて参りましょう。

今、世界は自国だけの活動ではなく世界規模での活動が主となり、世界中が手を取り合って活動しています。これから青少年が世界の人と手を取り合い活躍していくためには、価値観の違う外国人の考え方に寄り添える力が必要です。なぜなら、外国人の文化、風習、価値観を知ることで、相手の気持ちを理解することができるからです。そうすることで、言葉が

通じなくても手を取り合い、力を合わせていくことができるからです。

しかし、日本の英語教育は他のアジア圏において 20 年以上の遅れがあるため、他国との教育環境の違いや外国人との交流が少なく、日本で普通に生活しているだけでは青少年が外国人の考え方に寄り添える事ができないのではと考えます。また、日本では働き手の人材が不足し、外国人と手を取り合う状況はすぐに来てしまいます。

そのため、これからの日本を担う青少年達には、外国人との交流を通じて、自身の住まう地域だけではなく、他国の言語、文化、風習、価値観を知る体験をすることで外国人の考え方に直接触れて頂きたいと考えます。

「同じ釜の飯を食う」ということわざがあるように、寝食を共にして、会話をすることが、相手を知る一番の近道です。青少年たちには PHP 事業に参加して頂き、外国人との間にある壁を壊すことで、臆することなく世界の人と手を取り合い活躍していくことができると考えます。青少年と共にパサディナの地で、かけがえのない体験をしに行きましょう。

春日部青年会議所とパサディナ青年会議所の数多くの先輩諸氏が築き上げてきた PHP 事業を次世代に継承し両青年会議所がより良い関係になれるよう一所懸命に邁進してまいります。

一年間よろしくお願い致します。

【事業計画】

(1) 国際交流に関する調査・研究・計画・立案・実施。
(2) パサディナ青年会議所との交流事業に関する調査・研究・計画・立案・実施。
(3) 会員の拡大に関すること。
(4) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。

基本方針

広報渉外委員会　委員長　寺崎　雅也

想いを発信

～地域とのつながりに感謝を伝える～

公益社団法人春日部青年会議所は創立以来 57 年の間、『愛する郷土の発展』と『人間性の向上』を目的に運動して参りました。今日まで運動を続けることができたのは、先輩諸氏が地域の方々との信頼関係を我々に継承してくださったからです 。今後も力強い運動を続けていくためにも先輩諸氏と地域の方々に感謝を忘れず、築き上げてくださった信頼関係を継続して参ります。

広報渉外委員会では地域の皆様に、春日部青年会議所の地域の明るい未来にかける情熱を発信し、まずは我々の運動に興味を持ち共感してくれる方を増やしていくことが重要だと考えます。なぜなら共感を得られると、私たちの行う例会や事業に参加するきっかけになり、ご理解、ご協力して頂けます。その為に、我々が地域に対して行う運動や活動への想いを伝え、人の心に伝わる発信をすることで、さらに力強い運動の展開へとつながると考えます。だからこそ、各委員会の行う運動や活動を取材させて頂き、メンバーがどのような想いで活動をしているのかを定期的に発信していきます。また、本年度も既存媒体をさらに充実させ、伝えたい対象者によって発信方法の使い分けをし、共感してもらえる工夫をした発信を心がけます。

また、先輩諸氏には機関紙を通して、各委員会の運動や活動の状況や想いを日頃の感謝とともに伝えて、より多くの地域の人の心を動かせる発信をして参ります。

春日部青年会議所の運動をより力強く展開していく為には、行政、関係諸団体、地域の皆様のご理解ご協力が必要です。そのご協力のもと、春日部青年会議所は地域を巻き込んだ運動を展開して参りました。しかし、地域の皆様と先輩諸氏が長きに渡り築き上げてきた信頼関係が薄まってしまうと、ご理解とご協力が得られず、春日部青年会議所のより力強い運動ができなくなってしまいます。だからこそ地域の皆様とつながりに誠意を持って感謝を伝え、LOM の窓口として迅速かつ正確、丁寧なやり取りを心がけることで、日々行う運動や活動にご理解ご協力を頂けると考えます。

本年度も、日本青年会議所をはじめ各協議会へ多くのメンバーが出向します。出向メンバーは活動を通じ、各地域の同志と交流することで、より多くの学びとつながりを育むことが

出来ます。また、LOM メンバーは各種大会に参加することで多くの学びを得ることができ、その学びを春日部青年会議所の運動で発揮することにつながると考えます。さらに、メンバー同士が同じ目的を持って時間を共有することで、お互いを知ることができ、つながりをより深めることができます。広報渉外委員会は各種大会の情報と、参加することで得られる価値を LOM メンバーへ迅速に発信していきます。

春日部青年会議所のメンバーは地域を想い情熱をもって活動をしています。
広報渉外委員会では地域の皆様に自身の住むまちには、地域の明るい未来を本気で考え活動している多くの魅力ある春日部青年会議所メンバーがいるということを、余すことなく発信して参ります。

一年間よろしくお願い致します。

【事業計画】
(1) 専務理事の補佐に関すること。
(2) 慶弔に関すること。
(3) 広報に関すること。
(4) 公益社団法人日本青年会議所、関東地区協議会、埼玉ブロック協議会との連絡調整に関すること。
(5) 各種大会の案内・手配及び出向者に関すること。
(6) 行政その他、地域の諸団体との渉外に関すること。
(7) 例会・事業等に関する資料・写真・映像などの収集及び管理に関すること。
(8) ホームページの管理に関すること。
(9) 情報の収集及び提供に関すること。
(10) じゃがいもに関すること。
(11) 会員の拡大に関すること。
(12) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。

基本方針

じゃがいもキャプテン　濵島　辰也

Re:start

～ここから思いを繋ぐ～

公益社団法人春日部青年会議所は本年度に至るまで、これまで多くの先輩諸氏の築いてこられた信頼と信用があり、そのうえで私たちは今、地域に対しての運動を邁進することができています。そんな敬愛してやまない先輩諸氏の皆様と、一番身近で交流することができるのがじゃがいもゴルフコンペだと考えます。普段では聞くことのできない、これまでの春日部青年会議所の歩みや、その時代に於いて皆様が経験されたこと、そして OB として地域で活動している現在のお話を聞くことができる大変貴重な場となります。そのような偉大な先輩諸氏との交流をすることで、改めて私たち自身の知りえなかった歴史に触れることができ、これから現役メンバーの運動・活動にも更なる力強さが増していくことでしょう。

また、秋には久喜青年会議所との合同ゴルフコンペが開催されます。これまで、43 回の開催によって交流という名の絆を育んで参りました。それぞれがお互いに高めあい、青年会議所として一番の理解者とも言うべき久喜青年会議所の皆様との交流は、代えがたい財産になっています。久喜青年会議所の先輩諸氏、現役メンバーとの熱い思いをお互い感じることのできるような交流を楽しんで参りましょう。

私自身、ゴルフは春日部青年会議所に入会してから本格的に始める事になりました。ゴルフという競技に不安はありましたが、春日部青年会議所じゃがいもゴルフコンペでは他では体験できない貴重な経験をさせていただきました。親身になってゴルフを教えて下さったり、青年会議所活動での様々なアドバイスもいただくことができる絶好の機会となりました。久喜青年会議所の皆様とも交流を深める事ができ、現在の青年会議所活動にも生かされています。

昨年から様々な交流の機会を制限されました。本年もまだまだ新型コロナウイルス感染症の影響も考慮しつつ、皆様とのかけがえのない交流のために工夫を凝らすとともに、まだゴルフをプレイしたことの無いメンバーに関しても、その面白さを実感してもらえるような取り組みも考えてまいります。そして、すべての方々との垣根を超えた絆を深める交流の場となるような時間として参ります。

一年間よろしくお願い致します。

【事業計画】

(1) じゃがいも春場所の実施。

(2) じゃがいも秋場所（一般社団法人久喜青年会議所との合同）の実施

(3) じゃがいも練習会の実施

(4) 会員との親睦を図ること

基本方針

サッカー部キャプテン　押田　健太郎

ひとつ心に絆を深めよう

親睦を図ることを目的に先輩方から受け継がれてきたサッカー部ですが、昨今は、新型コロナウイルス感染拡大による影響で、活動できる機会が極端に減ってしまっておりました。今まで当たり前のように集まって交流をしてきたことが当たり前ではなくなり、つながりを作りたくてもなかなか機会がない状況が続いておりました。今年こそは現役メンバーだけでなく、OB 諸先輩方にも積極的にお声掛けをさせていただき、先輩方と現役メンバー間での交流ができる場所作りはもちろんのこと、サッカーだけでなく食事会を開催し、笑い合い語らいながら親睦を深められるような場所も設けていきたいと考えておりますので、運動が苦手な方でも気軽にご参加していただければ幸いです。

私自身、サッカー経験といえば、体育の授業で少し行ったことがある程度で、ルール等全く分からない素人でございます。しかし、私同様に今までサッカーの経験が無い方でも一緒に楽しめるような工夫をして、一致団結できるよう心掛けて参ります。今まで同様、ご家族やご友人の方も大歓迎でございますので、一緒に気持ち良く汗を流し交流いたしましょう。人と人とのつながりを大切にし、来年以降にもつながるよう気持ちを込めて活動をして参ります。

一年間よろしくお願い致します。

【事業計画】
(1) 練習会の実施。
(2) 全国大会への参加。
(3) 会員との親睦を図ること。